

# 百人一首集 —

二〇一三年二月十四日

改訂

## 百人一首の勉強の仕方

●作文教室 言葉の森

ひやくにんいつしゅ べんきょう しかた  
一日に三首を、三十回ぐらい音読し、三首続けて暗唱できるようにな  
しましよう。かかる時間は十分ぐらいです。

つづ  
続けて暗唱できる人は、一週間で九首、一ヶ月で二十七首続けて  
暗唱できるようにしていきましょう。

こひば  
言葉の意味を知りたいときは、古語辞典やウエブ古語辞典で調べま  
しょう。

ウエブ古語辞典  
<http://kobun.weblio.jp/>

ひやくにんいつしゅ  
百人一首集は、家庭学習国語のページにあります。  
<http://www.mori7.com/kg/koku/>



あきの

秋の

田のかりほの庵の苦をあらみわが衣手は露にぬれつ

天智天皇 後撰集

さきのたのかりほのいほのとまをあらみわがころもではつゆにぬれつ 秋(アキ名)の(ノ格助)田(タ名)の(ノ格助)かりほ(カリホ名)の(ノ格助)庵(イホ名)の(ノ格助)苦(トマ名)を(ヲ間助)あら(アラシ形ク語幹)み(ミ接尾)わ(ワ代名)が(ガ格助)衣手(コロモデ名)は(ハ係助)露(ツユ名)に(ニ格助)ぬれ(ヌル動ラ下ニ用)つつ(ツツ接助)サ四終て(バ)テフ連語天の香具山(アマノカグヤマ名)

はるす

春過ぎて夏来にけらし白妙の衣ほすてふ天の香具山

持統天皇 新古今集

はるすぎてなつきにけらししろたへのころもほすちようあまのかぐやま春(ハル名)過ぎ(スグ動ガ上ニ用)て(テ接助)夏(ナツ名)來(ク動カ変用)に(ヌ助動完了用)け(ケリ助動過去体)らし(ラシ助動推定終)②白妙の(シロタヘノ枕詞)衣(コロモ名)ほす(ホス動サ四終)て(バ)テフ連語天の香具山(アマノカグヤマ名)

あし

あしひきの山鳥の尾のしだり尾のながながし夜をひとりかも寝む

柿本人麿 拾遺集

あしひきのやまどりのをのしだりをのながながしよをひとりかもねむあしひきの(アシヒキノ枕詞)山鳥(ヤマドリ名)の(ノ格助)尾(ヲ名)の(ノ格助)しだり尾(シダリヲ名)の(ノ格助)ながながし(ナガナガシ形シク体)夜(ヨ名)を(ヲ格助)ひとり(ヒトリ名)か(カ係助)も(モ係助)寝(ヌ動ナ下ニ未)む(ム助動推量体)

2 たご

田子の浦にうち出でて見れば白妙の富士の高嶺に雪は降りつ

山辺赤人 新古今集

たごのうらにうちいでみればしきたかねにゆきはふりつ 田子の浦(タゴノウラ名)に(ニ格助)うち出で(ウチイヅ)動ダ下ニ用)て(テ接助)見れ(ミル動マ上一已)ば(バ接助)白妙の(シロタヘノ枕詞)富士(フジ名)の(ノ格助)ひとり(ヒトリ名)か(カ係助)かなし(カナシ形シク体)

3 あまの

奥山に紅葉踏み分け鳴く鹿の声きくときぞ秋はかなしき

猿丸大夫 古今集

おくやまにもみぢふみわけなくしかのこゑきくときぞあきはかなしき奥山(オクヤマ名)に(ノ格助)紅葉(モミヂ名)踏み分け(フミワク動カ下ニ用)鳴く(ナク動カ四体)鹿(シカ名)の(ノ格助)声(コエ名)きく(キク動カ四体)とき(トキ名)ぞ(ゾ係助)秋(アキ名)は(ハ係助)かなし(カナシ形シク体)

3 あまの

かさ 鶴の渡せる橋におく霜のしろきを見れば夜ぞ更けにける

中納言家持 新古今集

かささぎのわたせるはしにおくしものしろきをみればよぞふけにける鶴(カササギ名)の(ノ格助)渡せ(ワタス動サ四已)る(リ)助動存続体橋(ハシ名)に(ニ格助)おく(オク動カ四体)霜(シモ名)の(ノ格助)しろき(シロシ形ク体)を(ヲ格助)見れ(ミル動マ上一已)ば(バ接助)夜(ヨ名)ぞ(ゾ係助)更け(フク動カ下ニ用)に(ヌ助動完了用)ける(ケリ助動詠嘆体)

3 あまの

天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも

安倍仲磨 古今集

あまのはらふりさけみればかすがなるみかさのやまにいでしつきかも天の原(アマノハラ名)ふりさけ(フリサク動カ下ニ用)見れ(ミル動マ上一已)ば(バ接助)春日(カスガ名)なる(ナリ助動存在体)三笠の山(ミカサノヤマ名)に(ニ格助)出で(イヅ動ダ下ニ用)し(ヰ助動過去体)月(ツキ名)かも(カモ終助)

3 わがい

わが庵は都のたつみしかぞ住む世をうぢ山とひとはいふなり

喜撰法師 古今集

わがいほはみやこのたつみしかぞすむよを(うぢやまとひとはいふなり)わ(ワ代名)が(ガ格助)庵(イホ名)は(ハ係助)都(ミヤコ名)の(ノ格助)たつみ(タツミ名)しか(シカ副)ぞ(ゾ係助)住む(スム動マ四体)③世(ヨ名)を(ヲ格助)うぢ山(ウヂヤマ名)と(ト格助)ひと(ヒト名)は(ハ係助)ハ(ヌイフ動)なり(ナリ助動伝聞終)

3 はなの

花の色はうつりにけりないたづらにわが身世にふるながめせしまに

小野小町 古今集

はなのはないろはうつりにけりないたづらにわがみよにふるながめせしまに花(ハナ名)の(ノ格助)色(イロ名)は(ハ係助)うつり(ツル動ラ四用)に(ヌ助動完了用)けり(ケリ助動詠嘆終)な(チ終助)②いたづらに(イタヅラナリ形動ナリ用)わ(ワ代名)が(ガ格助)身(ミ名世)ヨ名)に(ニ格助)ふる(フ動ハ下ニ体)ながめ(ナガメ名)せ(ス動サ変用)し(キ助動過去体)ま(マ名)に(ニ格助)



これやこの行くも帰るも別れてはしるもしらぬもあふ坂の関 蟬丸 後撰集

これやこのゆくもかへるもわかれてはしるもしらぬもあふさかのせき これ(コレ代名)や(ヤ間助)こ(コ代名)の(ノ格助)行く(ユク動力四体)も(モ係助)帰る(カヘル動ラ四体)も(モ係助)別れ(ワカル動ラ下二用)て(テ接助)は(ハ係助)しる(シル動ラ四体)も(モ係助)しら(シル動ラ四未)ぬ(ズ助動打消体)も(モ係助)あふ坂の関(アフサカノセキ名) わたのはらや わたの原八十島かけてこぎ出でぬと人には告げよ海人のつり舟 参議簾 古今集

わたのはら やそしまかけてこぎいでぬとひとにはつげよ あまのつりぶね わたの原(ワタノハラ名)八十島(ヤソシマ名)かけ(カク動力下二用)て(テ接助)こぎ出で(コギイヅ動ダ下二用)ぬ(ヌ助動完了終)と(ト格助)人(ヒト名)に(ニ格助)は(ハ係助)告げよ(ツグ動ガ下二命)④海人(アマ名)の(ノ格助)つり舟(ツリブネ名)

【あまつ】 天つ風雲のかよひ路吹きとぢよをとめの姿しばしとどめむ 僧正遍昭 古今集

あまつかぜ くものかよひぢよ ふきとぢよ をとめのすがた しばしとどめむ 天つ風(アマツカゼ名)雲(クモ名)の(ノ格助)かよひ路(カヨヒヂ名)吹きとぢよ(フキトヅ動ダ上二命)③をとめ(ヲトメ名)の(ノ格助)姿(スガタ名)しばし(シバシ副)とどめ(トドム動マ下二未)む

【公助動意志終】

【5 つく】 筑波嶺の峰より落つるみな川恋ぞつもりて淵となりぬる 陽成院 後撰集

つくばねの みねよりおつる みんながは こひぞつもりて ふちとなりぬる 筑波嶺(ツクバネ名)の(ノ格助)峰(ミネ名)より(ヨリ格助)落つる(オツ動タ上二体)みんなの川(ミナノガハ名)③恋(コヒ名)ぞ(ズ係助)つもり(ツモル動ラ四用)ぬる(ヌ助動完了体)

【4 きみがためは】 君がため春の野に出でて若菜つむわが衣手に雪は降りつつ 光孝天皇 古今集

きみがため はるのにいでて わかなつむ わがころもでに ゆきはぶりつつ 君(キミ代名)が(ガ格助)ため(タメ名)春(ハル名)の(ノ格助)野(ノ名)に(ニ格助)出で(イヅ動ダ下二用)て(テ接助)若菜(ワカナ名)つむ(ツム動マ四体)わ(ワ代名)が(ガ格助)衣手(コロモデ名)

【6 たち】 たち別れいなばの山の峰に生ふるまつとしきかば今帰り来む 中納言行平 古今集

たちわかれ いなばのやま みねにおふる まつとしきかば いまかへりこむ たち別れ(タチワカル動ラ下二用)いなばの山(イナバノヤマ名)の(ノ格助)峰(ミネ名)に(ニ格助)生ふる(オフ動ハ上二体)まつ(マツ動タ四終)と(ト格助)し(シ副助)きか(キク動カ四未)ば

【6 ちは】 ちはやぶる神代もきかず龍田川からくれなるに水くくるとは 在原業平朝臣 古今集

ちはやぶる かみよもきかず たつたがは からくれなるに みづくくるとは ちはやぶる(チハヤブル枕詞)神代(カミヨ名)も(モ係助)きか(キク動カ四未)ば(ズ助動打消終)②龍田川(タツタガハ名)からくれなる(カラクレナヰ名)に(ニ格助)水(ミヅ名)くくる(ククリ動ラ四終)と(ト格助)は(ハ係助)

【す】 住の江の岸に寄る波よるさへや夢の通路人目よくらむ 藤原敏行朝臣 古今集

すみのえの きしによるなみ よるさへや ゆめのかよひぢ ひとめよくらむ 住の江(スミノエ名)の(ノ格助)岸(キン名)に(ニ格助)寄る(ヨル動ラ四体)波(ナミ名)よる(ヨル名)さへ(サヘ副助)や(ヤ係助)夢(ユメ名)の(ノ格助)通路(カヨヒヂ名)人目(ヒトメ名)よく(ヨク動カ下二終)らむ(ラム助動原因推量体)



なにはがたみじかきあしのふしのまもあはでこのよをすぐしてよどや  
名の(ノ格助)ふしの間(フシノマ名)も(モ係助)あは(アフ動ハ四未)で(テ接助)こ(コ代名)の(ノ格助)世(ヨ名)を(ヲ格助)すぐし(スグスマ四用)てよ(ツ助動強意命)と(ト格助)や(ヤ係助)動サ四用

**わび** わびぬれば今はたおなじ難波なるみをつくしても逢はむとぞ思ふ

元良親王 後撰集

わびぬればいまはたおなじなになるみをつくしてもあはむとぞおもふわび(ワブ動バ上二用)ぬれ(ヌ助動完了已)ば(バ接助)今(イマ副)はた(ハタ副)おなじ(オナジ形シク終)②難波(ナニハ名)なる(ナリ助動存在体)み(ミ名)を(ヲ格助)つくし(ツクス動サ四用)て(テ接助)も(モ係助)逢は(アフ動ハ四未)む(ム助動意志終)と(ト格助)ぞ(ゾ係助)思ふ(オモフ動ハ四体)

**いまこ** 今来むといひしばかりに長月の有明の月を待ち出でつるかな

素性法師 古今集

いまこむといひしばかりにながつきのありあけのつきをまちいでつるかな今(イマ副)来(ク動力変未)む(ム助動意志終)と(ト格助)いひ(イフ動ハ四用)し(キ助動過去体)ばかり(バカリ副助)に(ニ格助)長月(ナガツキ名)の(ノ格助)月(ツキ名)を(ヲ格助)待ち出で(マチイヅ動ダ下二用)つる(ツ助動完了体)かな(カナ終助)

**ふ** 吹くからに秋の草木のしをるればむべ山風をあらしといふらむ

文屋康秀 古今集

ふくからにあきのくさきのしをるればむべやまかぜをあらしといふらむ吹く(フク動カ四体)からに(カラニ接助)秋(アキ名)の(ノ格助)草木(クサキ名)の(ノ格助)しをるれ(シヲル動ラ下二已)ば(バ接助)むべ(ムベ副)山風(ヤマカゼ名)を(ヲ格助)あらし(アラシ名)

**つき** 月みればちぢにものこそ悲しけれわが身一つの秋にはあらねど

大江千里 古今集

つきみればちぢにものこそかなしけれわがみひとつのかきにはあらねど月(ツキ名)みれ(ミル動マ上一已)ば(バ接助)ちぢに(チヂナリ形動ナリ用)もの(モノ名)こそ(コソ係助)悲しけれ(カナシ形シク已)③わ(ワ代名)が(ガ格助)身(ミ名)一つ(ヒトツ名)の(ノ格助)秋(アキ名)に(チリ助動断定用)は(ハ係助)あら(アリ補動ラ変未)ね(ズ助動打消已)ど(ド接助)

**この** このたびは幣もとりあへず手向山紅葉の錦神のまにまに

菅家 古今集

このたびはぬさもとりあへずたむけやまもみぢのにしきかみのまにまにこ(コ代名)の(ノ格助)たび(タビ名)は(ハ係助)幣(ヌサ名)も(モ係助)とりあへ(トリアフ動ハ下二未)ず(ズ助動打消終)②手向山(タムケヤマ名)紅葉(モミヂ名)の(ノ格助)神(カミ名)の(ノ格助)まにま(マニマ名)に(ニ格助)

**なにし** 名にし負はば逢坂山のやねかづら人に知られでくるよしもがな

三条右大臣 後撰集

なにしおはばあふさかやまのさねかづらひとにしられてくるよしもがな名(ナ名)に(ニ格助)し(シ副助)負は(オフ動ハ四未)ば(バ接助)逢坂山(アフサカヤマ名)の(ノ格助)さねかづら(サネカヅラ名)人(ヒト名)に(ニ格助)知ら(シル動ラ四未)れ(ル助動受身未)で(デ接助)くる(ク動力変体)よし(ヨシ名)もがな(モガナ終助)

**を** 小倉山峰のもみぢばこころあらば今ひとたびのみゆき待たなむ

貞信公 拾遺集

をぐらやまみねのもみぢばこころあらばいまひとたびのみゆきまたなむ小倉山(ヲグラヤマ名)峰(ミネ名)の(ノ格助)もみぢば(モミヂバ名)こころ(ココロ名)あら(アリ動ラ変未)ば(バ接助)今(イマ副)ひとたび(ヒトタビ名)の(ノ格助)みゆき(ミユキ名)待た(マツツ動タ四未)なむ(ナム終助)

**みかの** みかの原わきて流るるいづみ川いつみきとてか恋しかるらむ

中納言兼輔 新古今集

みかのはらわきてながるいづみがはいつみきとてかこひしかるらむみかの原(ミカノハラ名)わき(ワク動カ四用)て(テ接助)流るる(ナガル動ラ下二体)いづみ川(イヅミガハ名)③いづ(イツ代名)み(ミル動マ上一用)き(キ助動過去終)と(ト格助)て(テ接助)か(カ)四未)なむ(ナム終助)

